

お互いに支え・支えられる荒井町の構築を目指して

令和4年6月8日にこの協議会を立ち上げてから5年目を迎えました。今年度の取り組みについては、下記に表記した総会での決定事項通りですが、具体的には、現在、日本各地だけでなく世界の各地で頻発している地震対策について考えていきたいと思っています。

皆さんは、いざ地震が発生したときの避難場所を確認されていますか。そして、その避難場所への経路を頭に入られていますか。様々な条件により異なると思いますが、まずはそこからスタートです。個人、隣近所、地区ごとの取り組み、そして、町全体での取り組みと、お互いが支え・支えられる体制づくりを進めていければと強く願っています。

令和8年度の総会を開催！

6月12日(金)18:30、荒井地域交流センターにおいて、令和8年度の荒井地区支え合いづくり協議会の総会が開かれました。議題として、令和7年度の事業報告、会計報告がなされ、続いて、令和8年度の役員体制(案)、事業計画(案)、会計予算(案)が提案され、いずれも原案通り承認されました。

役員体制においては、今年度団体の一部に役員の変更があったため、下記に表記した役員体制で臨むことになりました。

今年度の事業については、

①支え合いの取り組み

- 高齢者が安全で安心して暮らしやすい地域づくりを求め、支え合いや助け合いの取り組みを地域に働きかける。
- 地域課題(災害時の取り組み等)を整理し、課題解決につながる方法を協議する。また、地域で活躍する担い手などの地域資源の発掘に努める。

②介護予防・生活支援体制整備に関する研修

- 介護予防・生活支援体制整備事業に関する研修を実施する。

③荒井地区支え合いづくり協議会だよりの発行

- 支え合いづくり協議会の活動や地域活動を広報する。

令和8年度荒井地区支え合いづくり協議会 役員体制

役 職	名 前	所 属 団 体 名	役 職	名 前	所 属 団 体 名
会 長	福本 隆文	福祉推進委員会	理 事	中筋 弘子	連合婦人会
副会長	代野 恵司	連合自治会	理 事	角野 義輝	青少年健全育成協議会
会 計	千葉 誠	連合自治会	監 査	渋谷 一郎	連合自治会
理 事	岩坂 章弘	老人クラブ(緑丘)	顧 問	網干 年明	連合自治会
理 事	江口 彰	老人クラブ(扇町)	委 員	前川 広貴	播磨薬剤師会
理 事	石原 徹	民生委員児童委員会	委 員	増田 雅俊	播磨薬剤師会
理 事	宮本 敦子	連合婦人会	※役職名は省略		

講演 「地域で協力し合うことの重要性」

講師：高砂市総務部危機管理室 係長 椿野 純也 氏

6月12日金曜日に開かれた荒井地区支え合いづくり協議会総会に引き続き、講師に高砂市総務部危機管理室の係長椿野純也氏をお招きして、「地域で協力し合うことの重要性」と題してお話をさせていただきました。

初めに「自助・共助・公助」についての確認から始まり、「阪神・淡路大震災の概要、状況」を振り返り、問題点等が指摘されました。実際震災時救助された人の8割近くが近隣住民等による救助であったと統計が示しています。また、自力で助かった人は35%に対して、家族・友人・隣人により救助された人は60%と、「自助」「共助」がいかに重要であることが、統計から明らかになっています。

次に、「自助」についての具体的な事例の考察がなされ、「自助」の重要性や限界について話されたのち、「公助」についてもその事例や限界について紹介されました。

最後の「共助」については、荒井町の具体的な取り組みとして、「個別避難計画の作成」「救急医療情報キットの配付」「小松原団地自主防災会の結成」「避難訓練(要支援者避難支援末広モデル)」などを例に挙げられました。「共助」を支えるものは、日頃からのあいさつ、声掛け、見守り活動、防災訓練での安否確認訓練、備蓄等が大変重要であると力説されました。

そして、地域防災力の向上には、自助・共助・公助の連携があってこそと締めくくられました。



第33回荒井町ふれあい夏まつりが8月1日(土)に開催予定！！

今年も、荒井町ふれあい夏まつりがやってきます。模擬店や盆踊りなど、町民こぞって荒井小学校グラウンドにお集まりいただき、夏のひと時を楽しく過ごしましょう！

お待ちしておりますよ！

荒井町ふれあい夏まつり実行委員会

発行責任者 荒井地区支え合いづくり協議会 会長 福本 隆文

事務局 社会福祉法人 高砂市社会福祉協議会地域福祉課 第2層生活支援コーディネーター(小西)

TEL 079-443-3725 FAX 079-443-0505